

会 告

昭和 36 年度 夏期 講習会

今回プレストレスト コンクリート設計施工指針が改訂となりましたので、これを中心として恒例の夏期講習会をプレストレスト コンクリート技術協会と共催で開催いたします。プレストレスト コンクリートに関しては講習会開催の要望が多く、また現在各方面でもっとも必要性のある緊要欠くべからざる問題であります。講師にはそれぞれ斯界の権威者を依頼しましたので土木技術者としてプレストレスト コンクリートについて十分な知識を得られると確信いたしますから多数御来聴下さるよう切望いたします。

1. 日 時：昭和 36 年 8 月 23 日 (水)、24 日 (木)、25 日 (金)

2. 会 場：虎の門共済会館 (東京都港区赤坂葵町 2) 冷房設備あり

3. 講習時間、題目および講師：

第 1 日 (8 月 23 日 (水) 9.00~17.30)

9.00~ 9.30 会長あいさつ

土木学会会長

永田 年

(土木学会プレストレスト コンクリート設計施工指針改訂の要旨)

1) 9.30~ 9.40 委員長報告

東京大学教授

工博 国分正胤

2) 9.45~11.20 コンクリートの施工

東京大学教授

工博 国分正胤

3) 11.30~12.00 PC鋼材

極東鋼弦コンクリート
振興KK営業部長

官崎義成

4) 13.00~13.50 プレストレッシングの管理

国鉄構造物設計事務所
技師

野口 功

5) 14.00~15.50 設計

極東鋼弦コンクリート
振興KK設計部長

工博 猪股俊司

6) 16.00~17.30 グラウト

国鉄鉄道技術研究所

M.S 樋口芳朗

第 2 日 (8 月 24 日 (木) 9.30~15.40)

7) 9.00~10.10 道路橋におけるプレストレスト コンクリートの応用

日本道路公団調査役

工博 田原保二

8) 10.20~11.00 鉄道橋におけるプレストレスト コンクリートの応用

国鉄構造物設計事務所
技師

工博 友永和夫

9) 11.10~12.10 名田橋の設計施工について

徳島県土木部道路計画
課長補佐

野口秀美

10) 13.30~14.00 吉井川橋梁の設計施工について

国鉄新幹線総局工事局
設計課

小寺重郎

11) 14.10~14.50 名神高速道路におけるプレストレスト コンクリート橋梁の計画施工について

日本道路公団総裁室企
画課副参事

栗原利栄

12) 15.00~15.40 首都高速道路におけるプレストレスト コンクリート連続箱桁橋の計画施工について

首都高速道路公団工務
部第三設計課副参事

宮崎昭二

4. 教 材：(受講者には無代進呈) 教材は受講されない方にも頒布します。

(1) 昭和 36 年度改訂土木学会プレストレスト コンクリート設計施工指針

(2) 最近におけるプレストレスト コンクリート——設計施工指針の改訂と PC 橋の現況——

定価 (1) B 6 判 200 ページ程度 300 円 (〒 50 円) 会員 200 円 (〒 50 円) 程度

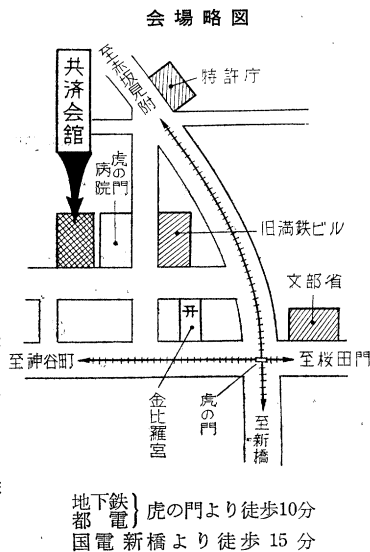
(2) B 5 判 200 ページ程度 600 円 (〒 80 円) 会員 500 円 (〒 80 円) 程度

5. 会 費：(1) 講習会費：会員 1200 円 (教材を含む)， 会員外 2000 円 (教材を含む)

(2) 見学会費：500 円 (受講者に限る，バス，昼食代共)

6. 修了証：講習修了者に交付します。

7. 見学会：8 月 25 日 (金) 満員になり次第締切りますから，その場合は悪しからず御了承下さい。



見 学 先	集 合 時 刻	解 散 時 刻	予 定 人 員	備 考
1 班 オリエンタルコンクリートKK多摩工場， 日本ヒューマンKK工場，国鉄鉄道技術研究所	集 合 地 土 木 学 会 解 散 地 “	8.30 17.00	100 人	
2 班 興国鋼鉄鋼索KK工場 (PC鋼線)，京葉道路， 川崎製鉄KK千葉製鉄所，土木研究所千葉支所	“	“	100 人	
3 班 首都高速道路高架橋，国鉄根岸線 PC 高架橋工場現場	“	“	100 人	

8. 映 画：嵐山橋 (ディビダーク工法)，大井川水路橋 (フレシネ工法)，永田橋 (B.B.R.V 工法)

9. 申込要領：8 月 10 日までに本号 (土木学会誌 46 巻 6 号，またはプレストレスト コンクリート技術協会誌 3 巻 3 号) 添付の申込書に会費を添えて，また班組織のある職場の方は班長において取りまとめてお申込み下さい (会費は必ず前納して下さい。当日会場でのお払い込みは特別の事情のない限りお断りいたします)。

10. 申 込 先：土木学会 (東京都新宿区四谷 1 丁目・電話 (351) 5138 代表)

昭和 36 年度土木学会名簿発刊について

昭和 36 年度土木学会名簿は本年 11 月末発行の予定で、目下その準備にかかっております。名簿は会員の皆様がその異動等について密接なご連絡によらなければ完全を期しがたいのであります。日常数多くの異動のご通知に接し遅滞なく整理いたしておりますが、毎月会誌発送ごとに若干の返送があるところを見ると、まだ、異動されたままご連絡がない方があるように見受けられますので完璧を期するため、改めて職名、住所、電話等を本誌挿入のハガキで、**9 月 15 日**までにご通知いたしまして完全な名簿を発行いたしたい念願でありますので、何卒ご協力のほどお願い致します。

なお、会員名簿は正員以上の会員で 36 年度会費完納の方にかぎり無料で贈呈いたします。

ただし御存じの通り、郵便料の約倍額程度の値上りと、印刷費、製版代その他の値上りによる支出増加のため、約 200 万円の赤字となりますので、1 部につき**金 100 円**送料その他として御負担をお願い致します。ご送金をご便宜の方法でお送り下さい。

土木学会名簿の各種業者案内欄に広告掲載依頼について

従来土木学会名簿の発刊に際し、名簿を座右銘としての使用価値を高めるために、土木に関係のある官公庁の所在地、所属長名および学校、その他各種団体のほかに会員内外が特に知らんとしている建設業、および土木材料、土木機械、橋梁製作、諸工事業業者等、業界の全貌をただちに知り得る名鑑案内を集録しましたところ、会員および一般土木技術者より非常に好評を博しております。今回も会員内外より新しい名簿の発刊を熱望せられておりますので、昭和 36 年度版を発刊することに致しました。

ついては一層完璧な名鑑案内を掲載できるように念願致しますので、御協力のほど御願ひ申し上げます。すなわちこの欄に貴社の御案内（広告）を御掲載下されば 15 000 人の会員が日常引用に便するのみならず、土木技術界全体が御互いに裨益するところが大きいと確信致します。

何卒以上の趣旨を御賛同下さいまして、後記御参照の上もれなく御申込みを願います。

昭和 36 年度土木学会会員名簿発刊計画

(1) 内 容

1. 学 会 要 項：定款および規則、役員、支部役員、前会長、各委員会委員、土木賞受領者、職員
2. 会 員 名 簿：名誉員、賛助員、特別員、正員、学生員（おのおの五十音順）
3. 主 な 職 場 機 関：学校（土木科設置）校名、所在地
官庁（土木関係局部課名）長主任、所在地
公庁および地方庁（ " ） " "
市 （ " ） " "
関係諸団体
4. 電力株式会社
5. コンサルタント業
6. 建設業者：登録、名称、代表者名、所在地、電話番号
7. 材 料 業 者： " "
8. 橋梁、機械器具製作者： " "
9. 諸工事請負業者： " "
10. 出版業者： " "

(2) 大き さ、体 裁：A 5 判、7 ポ横組、500 ページ程度

(3) 頒 布 価 格：学生員 100 円（送料 100 円）、会員外 300 円（送料 100 円）

(4) 発 行 期 日：昭和 36 年 11 月 10 日（予定）

(5) 申 込 所：土木学会（東京都新宿区四谷 1 丁目、振替東京 16828）

案内欄の掲載申込みについて

1. 掲 載 料：下記見本1間、会員 2000 円・会員外 2500 円
2. 原 稿：下記見本にならって原稿ハガキに明瞭に御記入願ひ、1社で両業種に該当する場合は両方に御申込み下さい。1社で3間まで用いられます。
3. 掲 載 順：各業種別に五十音順とします。
4. 申 込 期 限：9 月 15 日まで（申込みと同時に掲載料金を御払込み下さい）
5. 名 簿 進 呈：掲載主には名簿1間につき1冊差上げます。

〔建設業者およびコンサルタンツ案内組見本〕

登録番号社名・代表者名	所 在 地	電 話
3 間 の 例 建設大臣（ト）No. 8 西松建設株式会社 取締役社長 西松三好 取締役副社長 西松醇厚	本 社：東京都港区赤坂丹後町 17	(481) 代 4141
	東北支店：仙台市大町 2 の 83	(2) 代 8161
	関東支店：東京都渋谷区宇田川町 48	(461) 代 1141
	中部支店：名古屋市中区御幸本町 9 の 8 大和生命ビル内	(23) 代 6141
	関西支店：大阪市東区釣鐘町 2 の 41	(94) 代 8431
	四国支店：高松市西新通町 2 の 3	(2) 代 4441
	九州支店：福岡市本町 2	(4) 代 6436
	札幌営業所：札幌市北 6 条西 14 丁目 4 の 26	(2) 代 7765

社 名・代 表 者	営 業 種 目	所 在 地	電 話
1 間 の 例 バシフィックコンサル タンツ株式会社 取締役社長 平山復二郎	測量、地質調査、 土木設計及工事管理	東京都新宿区南元町 8	(341) 代 9151

〔コンクリート・橋梁・諸工事業者案内組見本〕

社(店)名・代表者	営 業 品 目	所 在 地	電 話
3 間 の 例 建設大臣（ト）No. 3788 興和コンクリート 株式会社 取締役社長 田中茂美	プレストレスト・ コンクリート製品 製造販売並に現場 施工	本 社：東京都中央区銀座西 6 の 6 合同ビル 2 階	銀座 (571) 8655~7
		名古屋営業所：名古屋市中区矢場町 2 の 42 菅原ビル	(42) 8689
		大月工場：山梨県大月市大月町（大月 駅側線）	大月 116・167
		豊橋工場：愛知県宝飯郡小坂井町	小坂井 411~2
2 間 の 例 株式会社 宮地鉄工所 取締役社長 宮地武夫	橋梁、鉄骨、鉄塔、 鉄管、其他鋼構造物 の設計、製作並現場 架設工事	本 社 工 場：東京都江東区南砂町 9 の 2470	深川(644) { 4141(代)~9 4140 波 田 160 (代) 札 幌 (2) 6819
		波 田 工 場：長野県東筑摩郡波田村	
		札幌営業所：札幌市北 2 条西 3 丁目 越山ビル	
		名古屋営業所：名古屋市中区桑名町 4 の 18	名古屋 (23) 1029・4011
		大阪営業所：大阪市西区西長堀北通 1 の 5 四つ橋ビル	大阪 (54) 1602
		福岡営業所：福岡市若宮町 38 石井ビル	福岡 (75) 1206
1 間 の 例 建設大臣（ホ）No. 2208 鉄道塗装工業 株式会社 取締役社長 遠藤忠夫	橋梁、船舶、鉄柱、 建物其他一般塗装 及び橋梁の修理架設 工事請負	本 社：東京都千代田区神田鍛冶町 1 の 13 出張所：東京、静岡、名古屋、大阪、広島 四国、九州、新潟、仙台、札幌	(251) { 5378 2522~3 (291) 7964

∴ 申込者は土木学会に御通知下されば、原稿カードをお送りいたします。

第 8 回 海岸工学講演会について

9月札幌市において開催の本講演会に関する次の事項についてお知らせし、参加者各位のご手配をお願いします。

1. 日 程：講演会：1961年 9月 12日(火)～13日(水) } の予定
見学会： 9月 14日(木)～15日(金) }
2. 会 場：札幌商工会議所
3. 見学会申込： 8月 20日までに北海道支部へ会費を添えて申込まれたい。
Aコース 9月 14日 札幌市内観光 会費 500円 定員 100名
Bコース 9月 14～15日 札幌～苫小牧～室蘭～洞爺湖温泉(一泊)～札幌 会費 2500円 定員 100名
4. 宿 舎 申 込： 8月 20日までに北海道支部へ氏名、連絡先を明記して申込まれたい(申込金不用)。
Aクラス 旅館 1500円 150名ほど手配、受入れ決定すればその旅館から連絡されます。
Bクラス 会館 700円 50名まで、受入れ決定すれば支部から連絡されます。
5. 講演集原稿： 6月 30日までに本部へ海岸工学講演集原稿と明記して提出されたい。規定ページを超過せぬようご配慮して下さい。
6. 3,4項申込先：札幌市北3条西5丁目北海道土木部港湾課 第8回海岸工学講演会準備委員会 追て、講演会プログラムは次号に発表いたします。

第 5 回 地震工学研究発表会論文募集

第5回地震工学研究発表会を10月16日、17日の両日土木学会会議室において行ないますので理論・実験・研究・耐震実験実例などふるって御応募下さい。発表希望者は題目、講演者氏名、勤務先を明記し、7月15日(土)までに土木学会へ御申込み下さい。

1. 日 時：1961年 10月 16日(月)、17日(火)の両日
2. 原稿締切：1961年 8月 31日(木)
3. 講演前刷：講演内容がわかるように講演概要はオフセット印刷とします。原稿はなるべく研究の考え方を主として書き、原稿の長さは1題目2ページ以内(図表をふくみ約2800字)、所定の原稿用紙にスミ書きにして下さい。特に超過する場合には、超過2ページまでは500円の実費を原稿提出のさい添付願います。原稿の採否は土木学会耐震工学委員会に御一任下さい。なお講演時間は15～20分(質問時間をふくまず)の予定です。
4. 懇 親 会：10月 16日(月)午後6時より土木学会会議室で懇親バーナーを開きます。多数御参加下さい(懇親会費 500円当日受付けます)。

構造物における高張力鋼およびその活用に関する 研究発表会論文募集要項

共 催：日本学術会議—橋梁・構造工学研究連絡委員会、土木学会、日本建築学会

上記の問題に関する研究発表会を本年10月上旬、2日間にわたり開催しますので、多数ご応募下さい。高張力ボルト、プレストレスト コンクリート、ケーブル、2H鋼、TI鋼などにつき有益な研究の発表を期待しています。

原稿枚数：学会誌刷上り4ページ以内(400字詰原稿用紙24枚以内、図表、写真をふくむ)

原稿締切：1961年 6月末日

論文応募に関する問合せならびに原稿送付先：日本学術会議事務局—橋梁・構造工学研究連絡委員会(東京都台東区上野公園内、電(821)3751、土木学会または日本建築学会)

- その他：1. 原稿の採否は日本学術会議—橋梁・構造工学研究連絡委員会にご一任下さい。
2. 研究発表会は東京において10月上旬開催の予定です。

関 西 支 部 行 事 案 内

第 1 回 見 学 会 (名神高速道路)

1. 期 日：昭和 36年 7月 13日(木)
2. 見 学 先：名神高速道路 天王山ずい道東口・乙訓工区・深草工区・山科工区
3. 集 合：当日9時50分までに国鉄大阪駅西口へ集合(受付は9時20分より)
4. 行 程：借切観光バス 10.00時大阪駅西口発→豊中経由 → 11.30天王山ずい道東口着(見学、昼食) 13.00発→13.15乙訓工区着(土工見学 30分) 13.45発→14.05深草工区着(高架橋見学 25分) 14.30発→14.50山科工区着(完成区域見学 20分) 15.10発→引き返えし→淀川左岸枚方、同右岸高槻、茨木経由→17.50大阪駅西口着解散の予定。
5. 参加費：200円 6. 定 員：100名
7. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先および氏名を明記の上7月8日(土)までに参加費 200円を添えて土木学会関西支部(大阪市東区大手前之町・大阪合同庁舎 近畿地方建設局企画室内・電話大阪(94)7041、振替口座大阪 82599)へ申込んで下さい。
8. 定員超過の場合の処置：申込期限内でも定員に達した場合は先着順で決めますから至急お申込み下さい。参加決定の方には参加章をお送りします。

昭和36年度夏期講習会申込書 (8月10日(木)まで)

正学特別	氏名	所属	現住所	居住地
		土木学会 プレストレストコンクリート技術協会		(電話)
勤務先	先	同	同	所在地
および職名	先	同	同	(電話)
連絡先	先	現住所	勤務先	先 (○印で囲んで下さい)

- 講習会費：会員 1200 円 (教材を含む) ・会員外 2000 円 (教材を含む)
- 見学会費：1 班 500 円 (オリエンタルコンクリート KK 多摩工場, 日本ヒューム管 KK 工場, 鉄道技術研究所)
2 班 500 円 (興国鋼線鋼索 KK 工場, 京葉道路, 川崎製鉄 KK 千葉製鉄所, 土木研究所千葉支所) ・
3 班 500 円 (首都高速道路高架橋, 国鉄根岸線 P C 高架橋工事現場)

合計 円 この申込書に同封 (現金, 為替) して 8 月 10 日 (木) までにお申込み下さい。

3. 申込先：土木学会 (東京都新宿区四谷 1 丁目 電話 (351) 5138 代表)

- 注意： a) 当日会場でのお払い込みは、特別の事情のない限り受け付けません。
 b) 見学会は 1, 2, 3 班共 100 名が定員で、受け付けは申込順にいたします。満員になり次第締切りますから早目にお申込み下さい。満員になってお断りいたします場合は、何卒悪からずご諒承願います。
 c) お取消しの場合は 8 月 15 日 (火) 17 時までに、土木学会に申出の方に限り返金いたしますが、それ以後は返金しません。